

## 腎泌1：下部尿路症状と尿路結石

日時：7月9日(木) 4時限

担当者：篠島 利明(泌尿器科)

内容：

1. 下部尿路症状を呈する疾患は、前立腺肥大症、神経因膀胱、尿失禁、尿路結石、尿路感染症など多岐にわたる。下部尿路症状を呈する疾患を提示し、鑑別診断、治療につき概説する。
  2. 尿路結石は、上部尿路結石(腎・尿管結石)と下部尿路結石(膀胱結石)にわかれる。上部尿路結石の症例を提示し、病態および治療について概説する。
  3. 尿路外傷(腎外傷、膀胱損傷、尿道損傷など)の症例を提示し、鑑別診断・治療につき概説する。
- コアカリ PS-02-09-05 生殖器系に関する疾患・病態について、病因、症候、検査、診断、治療法を理解している。

キーワード：

下部尿路症状、前立腺肥大症、尿閉、過活動膀胱、尿失禁、頻尿、夜間頻尿、尿路結石、尿路外傷

教科書：

- ◆ 標準泌尿器科 医学書院 196-215, page151-170, page140-150

参考書：

- ◆ Campbell-Walsh Urology, 11th Ed

準備：

【予習】

以下の知識を整理しておくこと(30分)

- ・尿閉の原因と対応
- ・下部尿路機能障害を診断する方法
- ・上部尿路結石の疫学
- ・レントゲン陰性結石
- ・結石性腎盂腎炎の治療
- ・腎外傷診療の特徴

## 腎泌2：尿路感染症とアンドロロジー

日時：7月9日(木) 5時限

担当者：篠島 利明(泌尿器科)

内容：

尿路感染症、性感染症、アンドロロジー

1. 尿路感染症を上部尿路感染症と下部尿路感染症に分けて講義する。
2. 性感染症は、リン病、クラミジア、梅毒などがあり、それらについて講義する。
3. アンドロロジーは、いわゆる勃起不全に伴う性機能障害と男性不妊の2つの分野にわかれる。2つの分野に分けて、基礎知識を説明し、具体例についても説明する。

コアカリ PS-02-09-05 腎・尿路系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解する。

キーワード：腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎、精巣上体炎、腎膿瘍、淋病、クラミジア、梅毒、性機能障害、男性不妊

教科書：標準泌尿器科学 page183-195, page278-282, page283-288,

予習：上記キーワードについて、調べ、理解していること。(2時間)

復習：講義資料の再読。

準備：

【予習】 下記の項目について基本的な知識を整理しておくこと(30分) ・膀胱尿管逆流症の診断 ・急性腎盂腎炎と腎膿瘍の違い ・排尿時痛を呈する疾患の鑑別 ・精索静脈瘤の診断 ・Klinefelter 症候群の検査所見 ・勃起不全治療薬

### 腎泌3：原発性腎疾患

日時：7月16日(木) 4時限

担当者：深谷 大地(腎臓内科)

内容：

腎臓の病理と原発性腎疾患(過去10年の医師国家試験問題を利用したまとめ)

1. 腎臓のマクロ・ミクロ解剖を説明できる。
2. 血尿と蛋白尿を説明できる。
3. 糸球体病変を説明できる。
4. 急性・慢性糸球体腎炎を説明できる。
5. 原発性ネフローゼ症候群を説明できる。
6. 尿細管間質病変を説明できる。

キーワード：

血尿、蛋白尿、腎生検、臨床症候分類、糸球体腎炎、尿細管間質腎炎、ネフローゼ症候群、selectivity index

教科書：

◆ NEW エッセンシャル腎臓内科学(医歯薬出版)(p1-14, 105-190)

備考：

当日、授業スライドのプリントアウトを資料として配布します。

準備：

教科書を通読してくることが望ましい。(20分)

### 腎泌4：全身疾患と腎

日時：7月16日(木) 5時限

担当者：深谷 大地(腎臓内科)

内容：

全身疾患に続発・合併する腎疾患(過去10年の医師国家試験問題を利用したまとめ)

1. 糖尿病関連腎臓病を説明できる。
2. 自己免疫疾患・血管炎の腎障害を説明できる。
3. 多発性骨髄腫とアミロイドーシスによる腎障害を説明できる。
4. アレルギー性腎疾患を説明できる。

キーワード：

糖尿病性腎症、ループス腎炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、骨髄腫腎、アミロイドーシス、アレルギー性間質性腎炎

教科書：

◆ NEW エッセンシャル腎臓内科学(医歯薬出版)(p191-278, 290-302)

備考：

当日、授業スライドのプリントアウトを資料として配布します。

準備：

教科書を通読してくることが望ましい。(20分)

### 腎泌5：腎の生理、体液電解質の異常

日時：7月17日(金) 5時限

担当者：前嶋 明人(総セ 腎・高血圧内科(人工腎臓部))

**内容：**

腎の生理と内分泌機能、および体液・電解質・酸塩基平衡の異常（過去10年の医師国家試験問題を利用したまとめ）

1. ネフロン機能を説明できる。
2. 各種利尿薬の作用機序を説明できる。
3. レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系の仕組みを説明できる。
4. 抗利尿ホルモンの作用機序を説明できる。
5. 体液組成（浮腫と脱水）の仕組みを説明できる。
6. NaとKの異常を説明できる。
7. 酸塩基平衡異常の機序を説明できる。
8. Ca代謝調節を説明できる。

**キーワード：**

浮腫、脱水、Na、K、酸塩基平衡、Ca、尿細管機能、利尿薬、レニンアンジオテンシン系、抗利尿ホルモン

**教科書：**

◆ NEW エッセンシャル腎臓内科学（医歯薬出版）(p15-41)

**備考：**

当日、授業スライドのプリントを資料として配布します。

**準備：**

教科書を通読してくることが望ましい。（20分）

**腎泌6：腎不全 透析治療**

日時：7月21日（火） 3時限

担当者：渡邊 裕輔(国セ 腎臓内科)

**内容：**

AKI, CKD および末期腎不全・透析治療（過去10年の医師国家試験問題を利用したまとめ）

1. 急性腎障害（AKI）を説明できる。
2. 慢性腎臓病（CKD）を説明できる。
3. 末期腎不全・尿毒症を説明できる。
4. 腎代替療法を説明できる。

**キーワード：**

AKI、CKD、末期腎不全、尿毒症、血液透析、腹膜透析、腎移植

**教科書：**

◆ NEW エッセンシャル腎臓内科学（医歯薬出版）(p74-104)

**備考：**

当日、授業スライドのプリントアウトを資料として配布します。

**準備：**

教科書を通読してくることが望ましい。（20分）

**腎泌7：泌尿器、生殖器腫瘍**

日時：7月23日（木） 4時限

担当者：城武 卓(国セ 泌尿器腫瘍科)

**内容：**

腎癌、尿路上皮癌、膀胱癌、前立腺癌  
その他の腫瘍（精巣癌、陰茎癌）

1. 国家試験の過去問題などを用いながら、実臨床に即した形で検査、診断、治療と立案計画が出来る思考を養う。 1. 腎細胞癌(★D-8-4-9)について理解し、説明できる。 2. 尿路上皮癌(膀胱癌、腎盂・尿管癌:★D-8-4-9)について理解し、説明できる。 3. 前立腺癌(★D-9-4-3)について理解し、説明できる。 4. 精巣腫瘍(★D-9-4-3)について理解し、説明できる。
2. 上記の腫瘍は過去に国家試験に出題されたものである。知識を覚える講義ではなく、試験問題の文章から、如何にして診断を予想し、鑑別診断を念頭に置きながら検査を立案し、治療を選択していくか・・・その思考過程を身に付けることを学ぶ。【キーワード】 1. 腎癌:renal cell carcinoma 2. 尿路上皮癌(膀胱癌、腎盂・尿管癌):urothelial carcinoma (bladder, renal pelvis, and ureteral carcinomas) 3. 前立腺癌(prostate carcinoma) 4. 精巣腫瘍(testicular tumor) 5. 各腫瘍性疾患の症候:無症候性血尿(asymptomatic hematuria)、腫瘍(abdominal or testicular tumor)、PSA(prostate specific antigen) 6. 各腫瘍性疾患の診断:生検(biopsy)、画像検査(imaging:CT or MRI) 7. 各腫瘍性疾患の治療:手術(surgery)、放射線療法(radiotherapy)、抗がん剤治療(medications:化学療法(cytotoxic chemotherapy)、分子標的治療薬(molecular targeted therapy)、免疫チェックポイント阻害剤(immune checkpoint inhibitor)、内分泌療法(hormonal therapy))

**準備:**

【予習】 事前配付資料のキーワードに基づいて、腎癌、尿路上皮癌、前立腺癌、精巣腫瘍の概要を把握する。(本授業で理解を深める)(60分)既に系統講義は終了していることから、泌尿器科癌の一般的知識があることを前提とした実臨床に即した考え方を養う。

【復習】 事前配付資料のキーワードをまとめ、国家試験過去問約5年分を解きなおす。(60分)

参考図書:標準泌尿器科学